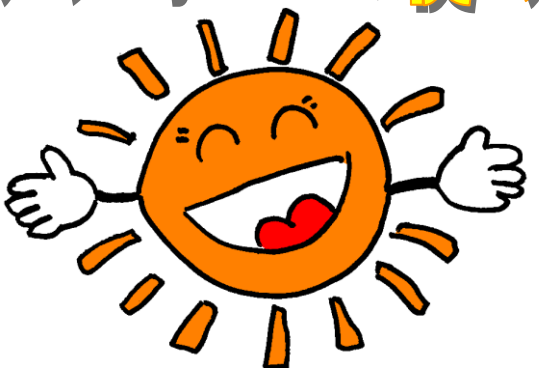
社会福祉法人
恩賜財団 東京都同胞援護会
TOKYOTO・DOHO・ENGOKAI

サンホーム便り



～白川郷～
～photo by araki～

平成二十四年を迎えました。激動の二十三年が、あっという間に過ぎました。今年もいろいろな事が予想されますが、利用者皆様のご多幸とご健康をお祈りしてやみません。今年も皆様に喜んで頂ける様、職員一同頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

「年の初めに」

園長　豊野秀一

昨年は、東北地方の大震災で多くの方々が家や家族を失い、生存された方々も大変な生活を送っていらっしゃいます。このことを思うと「年が明けましたね」と言う挨拶程度の言葉しか見当たらないのは私だけでしょうか。

さらに、原発問題はこれから数十年、いやそれ以上の年月をかけて福島原子炉の廃炉や放射能の除染活動が続きますが、地震の多い日本だけに各地に立地する原発の存在そのものが取りざたされています。

将来に対する明るい材料はと言いますと、被災地に対する復興財源の確保が挙げられますが、地震や津波に強い街づくりが一刻も早く出来ることを願わずにはおられません。

また、私たち国民に一番と身近な社会保障と税の一体改革の中身が示されましたが、内容的には高齢者や低所得者に対する思いやりが見られる反面、財源となる税収の行方が大変気になるところです。

年の初めから、心配ばかりの話になってしまいましたが、サンホームの皆様、ご家族の皆様にとって、今年一年が良い年となりますよう健康に留意され元気にお過ごし頂けたらと思う次第です。職員一同、去年にも増して頑張る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

～photo by araki～

新入居者のご紹介

新しく7名の方が入居されました。新入居の方に寄稿していただきました。

「入居への感謝」

吉田　雪江

都心で五十年以上働き、高年齢と共に将来への不安もありました。そんな時、友人より老人ホーム「自立系」があるとアドバイスを受け、高齢者相談所に伺い事情を話した処、すぐにサンホームに電話をして下さり、一年位の待機との事でしたが八カ月位で入居させていただく事ができました。

職員の皆様の温かい対応に心より感謝いたしております。今後も良き先輩のご指導を受け自身も成長し、皆様には御恩返し出来る様努力してまいります。

「雑感」

小野　かほる

三月の震災以来私は視点を変えた。避難生活をしている萬の人々を思う時、自ずと今までの意識を変えざるを得ない。思い切った断捨離をし、サンホームにお世話になって早や三ヵ月になります。

ここで温くぬくと守られた暮らしに、少しの後ろめたさと有難さを噛みしめながら、老いてこそ学べる今が幸せとばかり趣味三昧をやらせてもらっています。同時に集団が醸しだす暗黙の諸々を自己形成への試練とし、終章期の日々を心静かに「学び」そして「感謝」が私の使命。

弱輩ものですがどうぞよろしくお願いします。

この老人福祉制度が後世に末長く続くことを念じつつ。

本多　兼子

入居して早や三か月未だ失敗の数々ですが職員の方々に支へられ、入居者の皆様に教へられつつようやく何とか落ち着くことが出来たようです。尚、住めば都になる様願いたいものです。そして今の恵まれた生活が送られる程、今日まで社会に貢献して来たかしらと少々反省している今日この頃の私です。

この辺りでは桜の木がたくさん見受けられますので、花の季節が大そう楽しみです。今からこんなことを思うなんて少し変ですね。

～10月　誕生食事会の様子～

～華屋与兵衛にて～

～日帰り旅行～
～サンシャイン水族館～

高橋　京子

昭和三年葡萄とB級グルメの鳥もつ煮で有名な山梨県甲府で生まれました。

十八歳で上京し同愛記念病院の看護学校に入学し、昭和二十年　病院であの東京大空襲を体験し苦労したことを憶えています。

東村山に約二十五年、飯能に三十年住んでおり、今年の九月にサンホームにお世話になりました。東村山時代はハトホームに勤めていました。

どうぞよろしくお願い致します。

櫻井　壽賀子

十月二十四日　サンホームに入居させていただき、早いものであれから日いものがちらつく季節になりました。見る物全てが新鮮に映り、高鳴る胸のトキメキ感で一杯だった事が思い出されます。

サンホームの皆様のお仲間入りさせて頂き、日々馴れぬ不安に何かと戸惑う私に暖かな言葉を掛けていただき、どれ程嬉しかったことか・・・

家族から離れて1日も早くサンホームの生活に慣れる様、日々努力して参りたいと思います。

尚、視野が狭いので、皆様にご迷惑をおかけしない様にと緊張の現状が続いています。これからもどうぞよろしくお願いします。

加藤　節子

十二月一日に　サンホームに入所しました。お部屋も綺麗だし、皆さんとても優しいしとても好いホームだと嬉しく思っております。

生まれは東京で、中目黒に長年住んで居りました。川沿いの桜がとても綺麗なとてもよい町でした。サンホームも桜がきれいなところの様ですので、春が楽しみです。

趣味は、琴と三味線です。楽器はありませんが楽しい思い出だけは残っております。

少しずつ生活にも馴れて来ましたが、まだまだ不安があります。日を重ねて頑張ってゆきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

川端　智英子

長年住み慣れた大阪を離れる事に、色々と考え迷いました。八十路に入り一人暮らし。年を重ねる毎に不安が増し、子供の近くで住もうと決め東京へ。安堵も束の間またも子供が転勤。知らぬ土地にて日浅く、ずいぶんと落ち込みましたが、職員さんに励まされ淋しさも徐々にうすらぎ、気を使って下さる三度の食事も有難く、入居生活も少し慣れてまいりました。元気で頑張ります。

運命（さだめ）かな
故郷遠く
一人見る富士

新しい職員のご挨拶

平成二十三年十一月から平成二十四年三月まで、東京都の雇用プログラムにて、資格取得に向けてサンホームで勉強しながら頑張っています。

「ごあいさつ」

介護職員　仲宗根　弘美

昨年十一月より勤めさせていただいております。仲宗根弘美と申します。初めは仕事を覚える事に必死で利用者さんのお顔と名前が一致せず戸惑いました。

まだまだ未熟ですが、日々勉強させていただいています。今年も宜しくお願い致します。

～郷土料理の様子～

～大阪　お好み焼を焼きました～

行事報告

七月以降の行事報告です。
随分と前のように感じる行事が、実はまだ最近の出来事だったんですね。
懐かしく思い出されます。

「納涼会」

事務員　高野　睦子

七月二十二日(金)、ひかり苑と合同で納涼会は行われました。

夏の明るい夕方に、浴衣姿もはっぴ姿も一段と輝いてました。

枝豆にビール、焼き鳥にかき氷…笑顔と楽しい会話もくわわり、暗くなった時には一重になって盆踊りを踊りました。

どれを取っても夏の風物詩！素敵な夏の一ページでした。

「レクリエーション

プラネタリウムとダイソー買い物」

宮原　紀子

八月十日宮沢賢治の銀河鉄道の夜、プラネタリウムを観賞に行きました。

幻想的な世界へ旅行した様な気分が味わえ、終了の時間が来た時はもっと続きを見ていたいと思いました。

そして五日は百円ショップへ買い物に行きました。色々な商品を見て回り、皆さんと一緒に楽しめました。その時に購入された物が今、お役に立っているでしょうか。

～納涼会～

～お月見～

「お月見」

介護職員　伊藤　華恵

九月十二日　お月見の会を行いました。今年は何年かに一度のまん丸のお月様だと聞き、屋上で利用者さんの望遠鏡をお借りし、前日に皆で作ったお団子を飾り、きれいなお月様を見る事が出来ました。

最後は、ゆっくりと椅子に座ってお話の会になりとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

「敬老会」

介護職員　野口　義治

九月十九日、利用者さんのご家族もお招きし、敬老会が行われました。参加者総勢百六名の盛り上がりでした。

恒例の記念写真撮影後、多目的ホールにて食時歓談。お寿司をメインにした料理を楽しんだ後は、寅さんのモノマネで有名な野口陽一さんの演芸で大笑いし、最後は節目の年齢を迎えた方々に記念品が贈呈されました。

皆様のご多幸とご健康をお祈りします。

～敬老会　寅さんと一緒に～

～富士見町　ふれあいコンサート～

「ふれあいコンサート」

介護職員　野口　義治

十月一日、富士見公民館ホールで行われた第二十二回ふれあいコンサートに音楽・民謡・詩吟・ミュージックベルの各サークルの方々が参加されました。

市内から数多くのサークルが参加され、多くの観衆が熱い視線を送る中、各サークルとも日頃の練習の成果を如何なく発揮、最高のパーフォーマンスに対し絶大なる拍手が贈られました。

「東村山お年より手作り作品展」

生活相談員　生天目　尊

昨年十月七日～九日まで、東村山駅前の中央公民館一階ギャラリーで『第二十八回おとしよりの手作り作品展』が開催されました。

市内の高齢者施設のご利用者が日頃の趣味の作品(絵画、切り絵、写真、陶芸、書道、手芸、俳句・・・)を持ち寄り展示します。

若い人に負けない位の気迫が迫る作品、見ていてほっとする作品、緻密で感心する作品、と多岐に渡り、会場を華やかに飾りました。

当ホームご利用者も作品を出展しましたが、見学者は他の施設よりもじっくり時間をかけていたように感じたのはひいき目でしょうか・・・

毎年開催して二十八回、もうすぐ三十年と歴史を感じます。今回は何と来場者が初めて千人を超え、その長い歴史に記念すべき作品展となりました。今後も作品を通し、高齢者のパワーを地域に還元しているこの作品展を今後も陰ながらお手伝いをさせて頂きたいと思います。

「さやま園祭」

事務員　高野睦子

十月十六日、秋晴れの日曜日にさやま園祭バザーは始まりました。八種類の美味しい食べ物や冷たい飲み物も大盛況！射的やバスケットビンゴには、素敵な景品目当て？（笑）の方々でとても賑わっていました。

皆さんがお手伝いして下さったので食べ物も全て完売でした。ありがとうございました。

「作品展示会」

介護職員　宮原　紀子

十月東村山中央公民館又四階サークル室でも作品展があり、サンホームからは水墨画、編み物、焼き物、写真、絵手紙、押し花、手提げ、習字、折り紙等の品々が出展されました。

日頃の努力の成果や手先の器用さ、センスが個性豊かに輝いていました。

素敵な作品を出品して戴きありがとうございました。

今年もよろしくお願いします。

～作品展示会～

「レク　サンドウィッチ作り」

栄養士　大塚　千尋

利用者の皆様と一緒にサンドイッチ作りを行いました。八種類ものサンドイッチ作りでしたが、皆様のご協力のおかげで、一時間足らずで作ることができました。利用者様も職員もとても楽しそうに行っていました。

昼食には、作ったサンドイッチでバイキング♪種類がたくさんあり、選ぶのが大変そうでした。

また、皆様と一緒にできることをいろいろと企画していきたいと思います。

ご協力、よろしくお願いいたします。

～サンドウィッチ作り～

「サークル発表会」

介護職員　上野　浩志

十月三十日（日）毎年恒例のサークル発表会を行いました。

体操、民謡、書道、詩吟、音楽の5つのサークルとカラオケ、麻雀、卓球、読書、ミュージックベルの5つの同好会が、日ごろの練習の成果をアピールしました。緊張した方もおられましたが、楽しいひと時を過ごす事ができました。

最後に先生方に、感謝の記念品を贈呈し、今年につながる発表会になりました。

～サークル発表会～

「さんま祭り」

栄養士　大塚　千尋

今年もやってまいりました!!毎年恒例のさんま祭りです。と言いましても、目の前で、さんまを焼くだけですが・・・

今年は、いろいろなことがあり、十一月になってしまいましたが、天気もよく秋晴れの中、行えました。やはり、目の前で焼くと、食欲が湧きますよね♪

ほとんどの方が、一匹食べていました。中にはおかわりをしてくださる方もいました。嬉しいかぎりです。来年も再来年も行っていきたいと思います。

～さんまを焼いてる様子～

～日帰り旅行　水上バス・お台場・水族館～

「日帰り旅行」

介護職員　伊藤　華恵

暖かく秋晴れの中、秋の日帰り旅行に行ってまいりました。浅草より水上バスで日の出桟橋まで行き、昼食はホテルグランパシフィック三十階でレインボーブリッジを眺めながらのランチビュッフェをお腹いっぱいいただきました。

午後は八月にリニューアルオープンした池袋サンシャイン水族館へ。まだまだ混んでいて見るのも大変でしたが、近距離で見る事の出来るアシカのパフォーマンスや、マンボウを見て楽しむことが出来ました。

行きの道中は、どこかの国王様が来日なされていて、移動時間と一緒になってしまい大渋滞に巻き込まれてしまいましたが、終わってみればそれも良い思い出となります。

毎年、一泊旅行にも出かけていますが、今年度は日帰り旅行のみとなりました。来年度は、一泊旅行に行けるといいですね！

「家族会」

介護主任　加島　千津子

第二回目として開催いたしました。利用者四十五名、保証人三十名オンブズマン二名と職員合計八十六名の参加であった。

今回の内容は、高齢者の生活環境など社会的に考えさせられることが多い昨今、不安を抱えている利用者や保証人の皆様のお要望にお応えし、サンホームの現状と課題、合築されている特別養護老人ホーム　ひかり苑　園長のお話をうかがいました。

最新の情報提供の場となりました。皆様のお役にたてれば幸いです。

これからも皆様に情報を発信できるように、努力して参りたいと思います。

～家族会の様子～

「レク　芋掘り・焼き芋」

介護職員　上野　浩志

５月から畑作りを始めて、美味しいさつま芋が、出来る事を祈り苗植えを皆さんと行いました。そして待ちに待った?芋ほりを十一月二十八日に行い、思ったより収穫はありませんでしたが、皆さんが笑顔で、土を触っている姿が印象的でした。

三十日には焼き芋大会を万寿園、デイサービス、サンホーム合同で行い、四十三名の参加で盛大に行う事ができました。皆さん本当に喜ばれ温かくなりました。

次回ははもっと美味しいお芋を作ろうと挑戦の心が芽生えたのは、皆様の笑顔でした。がんばるぞー!オー!

～いもほり～

～焼き芋～

「忘年会」

介護職員　宮原　紀子

十二月十九日の忘年会は開始早々ハプニングが起こり、皆様には不安を与えてしまいましたが、何とか進行して行くことが出来ました。ビンゴゲーム、落語があり、カラオケでは七人の利用者さんが美声を披露して下さいました。

今回の忘年会は皆様にご迷惑をかけ大成功とは言えませんでしたが、次回の忘年会は今回のことを教訓にして皆様が安心して満足感をえられる様に努力していきたいと思います。

「エアロビ検定」

介護主任　加島　千津子

体操クラブで活動しているメンバー、三名の利用者さんがエアロビ十級の検定を受けました。去年の四名に続いての検定です。クラブでの練習の成果が試されてしまいます（笑）

結果・・・

見事、全員合格されました！

来年はバージョンアップを図ることを、目標に日々頑張っていただきます。

「12月　公開講座」

～公開講座に三遊亭小圓右師匠を迎えて～

生活相談員　生天目　尊

十二月の公開講座では、利用者さまからのご紹介で、三遊亭小圓右師匠を講師にお迎えしました。

サンホームでの公開講座では、初めての有名な落語家師匠講師ということもあり、スーパーや社会福祉協議会等、ポスターを貼付し近隣施設にも声を呼びかけてキャンペーンを行いました。

「落語と人生を語る」を表題に、笑いから人生を学び師匠の芸術的な落語を目前に聞くことが出来、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

おかげさまで多くの利用者さま、近隣施設さま、ご近所さまにご来園頂き、満員御礼となり、会場一杯の笑顔と大盛況のうちに終える事が出来ました。

地域に開かれ、貢献出来る施設を目指し、今後も公開講座にご期待下さい。

～中野さん作　絵手紙～

～大野さん作　水墨画～

利用者さんの作品です。

行事予定

一月四日・・・・初詣（大国魂神社）

一月十八日・・・新年会

二月三日・・・・節分

二月二十八日・・お楽しみ食事会

三月三日・・・・ひな祭り

三月二十一日・・お楽しみドライブ

次号は春に発行する予定です。
今後は、写真を多く載せていこうと考えております。ぜひお楽しみに。
また俳句・詩・文章・写真などの寄稿は随時、受け付けております。担当までお声かけ下さい。
尚、都合により、二十三年秋号が未刊であった事を深くお詫び申上げます。

【編集後記】

サンホーム忘年会の当日、北朝鮮の金正日総書記死去のニュースが伝わりました。

これから、北朝鮮を取巻く世界情勢がどう動いていくのか。凡人の私には想像が及びませんが、拉致被害者の方々は今後どうなるんでしょうか。

自分の人生が、自分の力ではどうする事も出来ない運命の波に翻弄される、実に耐え難い事です。彼らに比べ、私は自由な世界で生きている。幸せなことです。この事を忘れてはいけないと改めて感じた次第です。

Y・N記

発行
平成２４年１月４日
社会福祉法人恩賜財団
東京都同胞援護会
サンホーム
東京都東村山市富士見町2-7-40
TEL　042-391-3274
FAX　042-391-3366
E-mail sunhome-sodan@douen.jp

サンホームだよりに掲載されている文章・個人名、写真等は個人情報保護の観点から全て御本人又は保証人様の承諾を得て掲載しております。